

アスリート  
ATHLETES

アスリート数  
**8,605**



ユニファイドスポーツ  
UNIFIED SPORTS

チームメイト合計  
**4,341**

ユニファイドアスリート  
**1,737**

ユニファイドパートナー  
**2,604**

実施地区 41

ヤングアスリート  
YOUNG ATHLETES **118**

実施地区 10

大会・競技会数  
COMPETITIONS  
**226**

ユニファイド競技数  
**30**



国内活動  
DOMESTIC ACTIVITIES

都道府県  
**47**

市区町村  
**324**

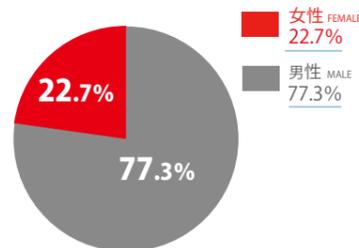


アスリートリーダーシップ  
ATHLETE LEADERSHIP

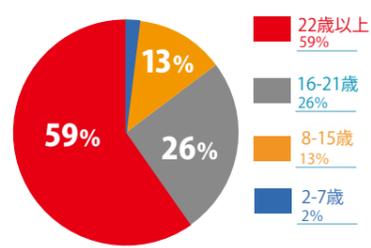
アスリートリーダー数  
**212**



アスリート男女比  
ATHLETE GENDER



アスリート年齢比  
ATHLETE AGE



ボランティア数  
VOLUNTEERS  
**10,822**

コーチ数  
**5,463**

ユースボランティア数  
**2,426**



学校連携  
SCHOOL COLLABORATION

**93**

ユニファイド活動校数  
**36**

ユースリーダー数  
(12-25歳)  
**222**



“Be with all”

多様な人々が生きる社会の実現を目指す



本書に関するお問い合わせ  
公益財団法人スペシャルオリンピックス日本  
〒105-0003 東京都港区西新橋2-22-1 西新橋2丁目 森ビル7階  
TEL:03-6809-2034 FAX:03-3436-3666

son.or.jp

info@son.or.jp @so.nippon @so\_nippon @specialolympics\_nippon @SONippon

発行日: 2021年3月31日

公益財団法人  
スペシャルオリンピックス日本



# About Special Olympics

知的障害のある人たちに様々なスポーツトレーニングと  
その成果の発表の場である競技会を年間を通じ提供している  
国際的なスポーツ組織、それがスペシャルオリンピックスです。

スペシャルオリンピックスの名称が複数形で表されているのは  
大会に限らず日常的なスポーツトレーニングから世界大会まで様々な活動が  
年間を通じて世界中でおこなわれていることを意味しています。

現在、世界190カ国以上で、約550万人のアスリートと100万人以上のボランティアが  
参加しています。私たちの活動は非営利活動であり、  
運営は「ボランティアと善意の寄付」によっておこなわれています。

また、スペシャルオリンピックスでは、これらのスポーツ活動に参加する  
知的障害のある人たちを「アスリート」と呼んでいます。

アスリートの健康  
体力増進  
PHYSICAL STRENGTH

スポーツ技術の向上  
競技経験  
UPSKILLING

地域社会との交流  
SOCIALITY

自立への意識と自信  
INDEPENDENCE

包み込む社会  
ENVIRONMENT



# Our Mission

知的障害のある人たちに年間を通じて、オリンピック競技種目に準じた  
さまざまなスポーツトレーニングと競技の場を提供し、参加したアスリートが健康を増進し、  
勇気をふるい喜びを感じ、家族や他のアスリートそして地域の人々と、才能や技能、  
友情を分かち合う機会を継続的に提供します。

# Our History

1968年、

故ケネディ大統領の妹

「ユニス・ケネディ・シュライバー」は、  
当時スポーツを楽しむ機会が少なかった  
知的障害のある人たちに

スポーツを通じ社会参加を応援する

「スペシャルオリンピックス」を設立しました。

ユニスは活動を通じ、知的障害のある人たちの  
可能性を実現し、彼らに対する社会の  
否定的な固定観念や差別的態度を変えるため、  
その生涯を捧げました。彼女が生涯貫いた  
信念は、50年たった今も確実に社会を変える  
動きとして世界に広がっています。



Eunice Kennedy Shriver

“スペシャルオリンピックスで大切なものは  
最も強い体や、目を見張らせるような記録  
ではない。それは各個人のあらゆるハンディに  
負けない精神である。この精神なくしては  
勝利のメダルは意味を失う。しかし、  
その気持ちがあれば決して敗北はない。”

創設者

ユニス・ケネディ・シュライバー



# Our Work

スペシャルオリンピックス日本は、スペシャルオリンピックスの国内活動を推進する組織として、国際本部より認証をうけている国内本部組織です。現在は全国47都道府県全ての地区組織にて、**約8,500人のアスリートと1万人以上のボランティア**が活動を行っています。(2019年度末)  
私たちは3つの事業を主に、スペシャルオリンピックス活動の普及・促進にむけて活動しています。また、国際本部を始め世界各国のスペシャルオリンピックス組織との連携をはかっています。



## スペシャルオリンピックス日本の主な3つの事業

1

### コーチ・ボランティアの育成

アスリートたちに質の高いトレーニングを提供できるよう、コーチや地域プログラムをサポートするボランティアを対象とした講習会を行い、人材育成に取り組んでいます。



2

### 全国大会の開催 (ナショナルゲーム)

世界大会選手団選考を兼ね、全国からアスリートが参加し、それぞれが日常のスポーツトレーニングで出来るようになったことの全てを發揮するチャレンジの場を提供しています。



3

### 世界大会への選手団派遣

4年毎に開催される夏季・冬季世界大会に日本選手団を派遣し、競技能力の向上や異文化交流、そして選手団としての活動を通じて自立や社会性を高める機会を提供しています。



# Message From Our CEO and Athlete Ambassador



私自身、股関節脱臼で生まれ、幼少の頃は“何のとりえも無い”と感じていた時、スポーツという“機会の場”で、様々な経験が出来たことによって自らが変化(成長)出来、今の自分があると思っています。  
“機会の場がある”ということは、人のそれぞれにある可能性を引き出し、それに挑戦し、成長するのに必要な様々なことを実感できるということ。また、社会や自分以外の人とのつながりを生み、互いを知り、理解し合う意識を高められるということ。そしてこれらのことは、障害の有無に関係なく、すべての“可能性を持ち得る人”に大切なことだと思います。  
スペシャルオリンピックスは、その大切な“機会の場”をスポーツを通して、知的障害のある人を中心につくり、多様な人々が共に活々と生きる社会の実現を目指し努力してまいります。  
この活動を通して、一緒に、“Be with all”の社会をつくっていきましょう。

公益財団法人スペシャルオリンピックス日本

理事長 有森裕子



私がスペシャルオリンピックスに出会ったのは、高等学園に入ってからです。中学の時、バスケの試合でランニングシュートを決めた嬉しさが忘れられず、先輩のお母さんの紹介で参加を決めました。  
最初は勝つ事しか頭になかった私にコーチは仲間と協力するチームプレーの大切さを教えてくれました。現在はバスケと馬術に参加し、他の地区に行き新しく出会う仲間とコミュニケーションをとる事を楽しみにしています。  
また、2018年からアスリート理事をさせていただき海外のアスリートリーダー会議に参加しました。世界中から集まった仲間とゲームを通して仲良くなり、国は違っても、障がいに向き合う姿勢は同じってことを共有しました。  
そして、リーダーとしてこれからどうしていくかについて話し合いをしました。言葉が違っていてもみんなとつながれることを感じました。  
今は、一人暮らしを始め、社会人として自立し、仕事とともに余暇も充実させることを目標にしています。スペシャルオリンピックスに参加することで、スポーツを通じて自分に自信をつけ、チームワークの大切さを学びました。  
これからもたくさんの仲間と一緒にスポーツを楽しみたいと思います。

アスリート代表 安藤 里未



# Special Olympics Unified Sports®

スペシャルオリンピックスの取り組みとしてユニファイドスポーツの促進活動に力を入れています。

ユニファイドスポーツとは、スポーツを通じたユニファイド活動です。アスリートとパートナーが混合チームを作り、練習や試合を行います。スペシャルオリンピックス国際本部が推進しているプログラムの1つで、世界大会公式種目としても実施されています。



障害の有無を越え、スポーツを通じて喜びや悔しさ、達成感など様々な経験を共有することにより、お互いの理解を深め、友情を育むことを目指しており、インクルーシブ社会の実現を促進することを目標としています。



世界各国でたくさんの著名人・企業の方々がこのユニファイドスポーツの取り組みに賛同し、活動の認知と参加呼掛けを目的とした様々なイベントに参加しております。日本国内ではバスケットボールとサッカーを中心に活動を行っておりますが、その他競技についても今後展開していく予定です。



## Our Vision 2020-2025

# “Be with all”

「多様な人々が生きる社会の実現を目指す」

スペシャルオリンピックス日本は、知的障害のある人々とのスポーツを通じた様々な**ユニファイド活動**により、多くの気づきと行動を生み出します。

### 【ユニファイド活動とは】

知的障害のある人（アスリート）と知的障害のない人（パートナー）がスポーツ、教育、健康、コミュニティ形成に関する多くのプログラムを通じてお互いに相手の個性を理解し合い支え合う関係を築いていく取り組みです。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



スペシャルオリンピックス日本は国連で採択されたSDGs(持続可能な開発目標)の17のゴールのうち8つのゴールに密接に関係しています。

現在、日本では約100万人の知的障害のある人たちが生活しているとされていますが、(\*注1) スペシャルオリンピックス日本の参加アスリート数は8,605人と、わずか1%に満たないのが現状です。(\*注2)

スペシャルオリンピックス日本では、1人でも多くの人たちに活動へ参加していただくことで、スポーツを通じて、知的障害のある人々の可能性を広げ、よりインクルーシブな社会を目指します。

(\*注1) 厚生労働省発表の療育手帳発給数 2017年発表を参照 (\*注2) 2019年末時点